



亘理町ゼロカーボンシティ宣言

亘理町は東に太平洋を望み、西に阿武隈高地、北に阿武隈川が流れ、里山、水田、干潟、住宅地を有す緑豊かな田園都市です。この豊かな自然環境を保全し、末永く後世に引き継いでいかなければなりません。

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動の影響により、猛暑やゲリラ豪雨など、大規模自然災害が世界各地で頻発しており、生物の生存基盤を揺るがす極めて深刻な問題となっております。

2015年に採択されたパリ協定において、産業革命からの平均気温を1.5℃に抑えるためには、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」との目標が掲げられました。

国はパリ協定に基づき、2013年度と比較し、2030年度まで温室効果ガスの46%削減を目指すと表明しております。

このような状況を踏まえ、亘理町はかけがえのない豊かな自然と人との共生できる町として後世につないでいくため、より一層の温室効果ガスの排出抑制に努め、町民とともに「SDGs」に尽力し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言いたします。



令和4年2月25日

亘理町長 山田周伸